

## 授業展開例（特別活動・LHR）

1 校 種 高等学校

2 活動名 「ディベート」

3 単元について

(1) 単元観

本単元は「ディベート」である。今回実施する「ディベート」は一般的な「ディベート」とは異なる。通常、「ディベート」とは、自分の考えを主張し、どちらが優位なのかを判断するものである。ゆえに、「ディベート」では、弁論術が問われがちである。

今回試みる「ディベート」が一般的な「ディベート」と異なる点は、単にどちらが優位なのかを判断することにとどまるのではなく、自分の意志に関係なくあらかじめ決められた立場から事象を考察していく点及び最終的に判断をする「審判グループ」の存在が最も重要である点である。

このことは、相手の立場に立って事象を考察すること及び好みや主観ではなく客観的に冷静に事象を判断することができる能力を育成することができる。すなわち、人権教育において重要な素養が育成できると考える。

(2) 生徒観 〈省略〉

(3) 指導観

**人権教育の視点から、自己表現能力、人の話に耳を傾ける能力、他人の立場になって考えることができる能力及び事象を客観的に判断することができる能力を養う。**

4 単元の目標

現在、社会の中で話題となっている「原子力発電所は廃止すべきである」をテーマに「ディベート」を実施する。このテーマは容易にその是非を判断することができないものである。だからこそ賛否どちらの立場にも立ちやすく、両方の立場に立って考察することが可能となると考える。

自分の意志とは異なる立場に立ちメリット及びデメリットを考察することにより相手の立場に立って考えることができる能力を養うことができる。また、「ディベート」の過程では同じグループや他方のグループの意見を聴くことが必要である。この過程で傾聴の能力を養うことが可能となると考える。更に、自分の好みや主観ではなく、あくまで客観的に冷静に事象を判断する能力を養う。

5 単元の評価規準（4時間）

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・「原子力発電所の問題」に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする。	・「原子力発電所の問題」の是非について客観的かつ科学的に考え、判断することができる。	・「原子力発電所の問題」について他人の意見等を通して検証することができる。 ・自分の考えをわかりやすく表現することができる。	・「原子力発電所の問題」の是非については様々な要素があることを理解し、知識として身に付けている。

6 指導と評価の計画（4時間）

時	学習内容	評価				
		関	思	技	知	評価規準（方法）
1	・ディベートの手順	◎	◎			◎賛成・否定の両方の立場に立ってその理由を考えようとする。（ワークシート） ○積極的に考えを出し合うと同時に相手の意見を真剣に聴くことができる。（行動観察）
2	・発表 ・質疑応答 ・判断			◎		◎グループの意見をまとめて発表することができる。（行動観察） ○相手の発表を聴き、質疑応答をすることができる。（行動観察） ◎客観的に判断することができる。（行動観察）
3	・調査				◎	◎積極的に調査、探求をすることができる。（行動観察）
4	・発表 ・質疑応答 ・判断			◎		◎グループの意見をまとめて発表することができる。（行動観察） ○相手の発表を聴き、質疑応答をすることができる。（行動観察） ◎客観的に判断することができる。（行動観察）

7 本時の展開

(1) 本時の目標

- 「原子力発電所」に係る様々なメリット、デメリットについて理解する。またそれゆえに単純に結論を出すことができないことを理解する。

○人権教育の視点

- ・グループワークを取り入れ、互いに協力して作業をすることにより、責任感や意欲を高め、自己存在感を与える。【価値的・態度的側面】
- ・他人の意見を能動的に傾聴する態度を養う。【技能的側面】
- ・自分の考えを整理して相手に伝える能力を養う。【技能的側面】
- ・自分の意志で事象を客観的に判断する態度を養う。自己決定の場を与える。【価値的・態度的側面】

(2) 観点別評価規準

- ・目的意識をもって意欲的に作業をおこなっている。（行動観察・ワークシート）

(3) 準備物

- ・タイマー
- ・ワークシート

(4) 学習の展開 (50分)

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準・《方法》
導入 (3分)	1. ディベートの流れについて確認する。		・流れについて理解しようとしている。 《行動観察》
展開 (37分)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black;">命題「原子力発電所は廃止すべきである」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各グループで役割分担を決め、調査した内容を出し合い発表する内容をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「肯定グループ」「否定グループ」それぞれで話し合う。</li> <li>グループ内で「司会」「記録」「発表者」を決める。</li> <li>全員が意見を出し合う。</li> <li>ワークシートに発表する内容をまとめる。</li> </ul> </li> <li>「肯定グループ」が発表する。</li> <li>「否定グループ」が質問を考える時間を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>質問する内容を話し合いまとめる。</li> </ul> </li> <li>「否定グループ」が質問をする。</li> <li>「否定グループ」が発表をする。</li> <li>「肯定グループ」が質問を考える時間を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>質問する内容を話し合いまとめる。</li> </ul> </li> <li>「肯定グループ」が質問をする。</li> <li>それぞれのグループで質問に対する回答を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>質問に対する回答を話し合いまとめる。</li> </ul> </li> <li>「否定グループ」が回答を発表する。</li> <li>「肯定グループ」が回答を発表する。</li> <li>「審判グループ」が判断する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートをもとにポイントを算出し、どちらが勝ちか判断する。</li> </ul> </li> <li>「審判グループ」が判断結果を発表する。</li> <li>「審判グループ」のメンバーが感想を発表する。</li> </ol>	<p>■次のことを確認する。</p> <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全員が意見を出す。</li> <li>誹謗中傷はしない。</li> <li>人の意見をしっかりと聴く。</li> <li>客観的な意見を出す。</li> <li>客観的に判断する。</li> </ul> <p>■グループワークにおいて全員が発言しているか確認する。そうでない場合には発言を促す。</p> <p>■発言者の意見を真剣に聞いているか確認する。</p> <p>■発言内容が客観的な事実に基づいたものであるか確認する。</p> <p>■自分の意志により、客観的に判断をすることを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に作業をおこなっている。</li> <li>《行動観察》</li> <li>《ワークシート》</li> <li>・【留意事項】を意識しながら作業を行っている。</li> <li>《行動観察》</li> </ul>
まとめ (10分)	<ol style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめをおこなう。次のことを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>社会の中の事象はメリット、デメリットの両面があることが多く、単純に判断ができないことを理解させる。</li> <li>自分の考えをわかりやすく相手に伝える。</li> <li>自分の考えが自己中心的なものではなく、客観的な事実に基づいていることが大切である。</li> <li>相手の意見をしっかりと聴き、常に相手を尊重する態度を忘れない。</li> <li>自分のこれまでの経験や知識にとらわれるのではなく、客観的に冷静に判断する。</li> <li>自分の意見や判断が人をより大切にし社会により貢献することにつながっているかが大切である。</li> </ul> </li> </ol>	<p>■人権感覚を育む上で大切なことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見が自己中心的なものにならないこと及び聴くときにはしっかりと傾聴するなど、相手を尊重する態度が大切であることを理解させる。</li> <li>事象を判断をする際には、公平で合理的かつ客観的に思考することが大切であることを意識させる。</li> </ul>	